

# 農業会議だより

第23号(令和2年1月)発行:一般社団法人佐賀県農業会議

1. 年頭のあいさつ
2. 農業者年金加入推進セミナー及び全国農業委員会会長代表者集会に参加
3. 話し合いコーディネートスキルマスター研修会を開催
4. 農業者年金の加入推進
5. 全国農業新聞の普及推進
6. 常設審議委員会の結果(11月、12月)
7. 行事予定
8. 2020年農林業センサス調査が実施されます

## 1. 年頭のあいさつ



農業会議 会長 坂井邦夫

新年、明けましておめでとうございます。

農業委員・農地利用最適化推進委員、関係機関・団体等委員の皆様には、かねてから農業会議の業務推進について、格別のご理解とご支援を賜り心からお礼を申し上げます。

さて、去年は元号が「平成」から「令和」に変わる節目の年でした。本県の農業についてみますと8月に発生した集中豪雨による甚大な水害や9月の台風17号による潮風害、トビイロウンカの発生など度重なる災害等により、コメの作柄を示す作況指数が「58」と記録的な不作になるなど、自然災害の脅威を痛感した一年でした。

私ども農業委員会系統組織は、改正農業委員会法の施行から4年目を迎え、本県では555名の農業委員・推進委員が農地法等の法令業務はもとより、農地利用の最適化の推進に取り組んでいるところです。

さらに、農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部を改正する法律が昨年5月に公布され、農業委員会は「農地の保有及び利用の状況、農地の所有者の農業上の利用の意向その他の農地の効率的な利用に資する情報の提供」や「農業委員・推進委員の農業者と関係者による協議の場への出席(地域での話し合いへの参加)」など市町へ協力することが法定化されました。また、令和3年度には農業委員会法の5年後見直しが控えており、本年の農地利用の最適化の取組で着実な成果を上げることが重要となってきます。

私ども農業委員会組織は、「農地利用の最適化の推進」について、農業委員と推進委員がさらに連携を深めながら、担い手への農地の利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等の取り組みを強化しなければなりません。

このため、これまで以上に活動の強化を図るとともに、農業者の皆様へ寄り添った活動を展開して参りたいと決意を新たにしています。

農業者の皆さんが将来に希望を持って、安心して農業経営に取り組むとともに次世代につなぐことができる農業を実現するためにも、皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

## 2. 令和元年度農業者年金加入推進セミナー・全国農業委員会 会長代表者集会へ会長等28名が参加しました！

期 日：令和元年11月27日（水）～11月28日（木）

場 所：東京都「メルパルクホール」

参加者：28名

農業会議（坂井会長、宮崎副会長）、佐賀市（秋吉副会長、大園委員、吉田委員、三島事務局長）、神崎市（西村会長）、吉野ヶ里町（原武副会長）、鳥栖市（堤会長）、基山町（坂本会長）、上峰町（吉富会長）、みやき町（原会長）、多久市（小園会長）、小城市（貝原会長）、玄海町（吉田副会長、山口係長）、伊万里市（山口会長）、有田町（藤会長）、武雄市（相原副会長）、大町町（津野会長）、江北町（武富委員、金原係長）白石町（松尾委員、中村委員）、鹿島市（織田会長）、嬉野市（池田副会長）、農業会議（古賀専務理事、武藤次長）

### (1) 令和元年度農業者年金加入推進セミナーの概要

①開会、主催者挨拶、来賓挨拶

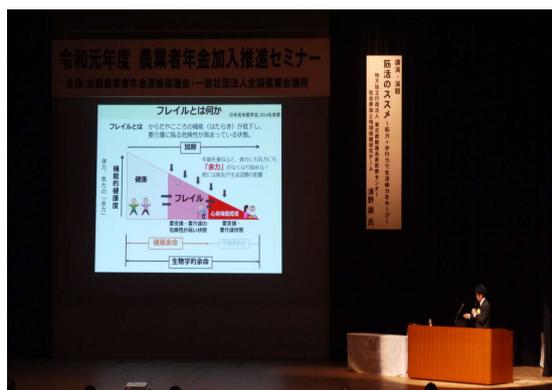
②記念講演

【演 題】

筋活のススメ～筋力＋歩行力で  
生活体力をキープ～

【講 師】

地方独立行政法人東京都健康  
長寿医療センター  
研究員 清野 諭 氏



③活動事例報告

- ・北海道岩見沢市農業委員会会長 山谷 康雄 氏
- ・千葉県木更津市農業委員会会長 安藤 一男 氏
- ・長崎県雲仙市農業者年金受給者協議会副会長 前田 義昭 氏

④申し合わせ決議

「加入者累計13万人早期達成3カ年運動」への取り組み

- ・政策支援対象者等への働きかけを強力に推進しよう
- ・新制度に加入しなかった旧制度加入者への働きかけを粘り強く推進しよう

北海道岩見沢市農業委員会では、農業者年金の加入推進のため独自で農業従事者調査を実施し、加入推進対象者名簿を作成して全ての農業委員(36名)が1人以上の加入推進を目標に活動した結果、平成29年度で67名、30年度で53名という実績を取り上げられていました。山谷会長からの「特別なことはしていない。農業者のために活動している。」という言葉が印象的でした。

## (2) 令和元年度全国農業委員会会長代表者集会の概要

- 開会、主催者挨拶、来賓挨拶、農業委員会憲章唱和
- 第1部 活動事例報告・記念講演・申し合わせ決議
  - ①活動事例報告
    - 「人・農地プランの実質化に向けて 農家台帳システムの活用」  
広島県三次市農業委員会 会長 橋本 洋資 氏
    - 「人・農地プランの話し合いの推進」  
宮城県角田市農業委員会 会長職務代理者 白戸 康一 氏
    - 「農地利用最適化交付金を活用した最適化活動」  
愛知県豊田市農業委員会 会長 横条 鈞 氏
  - ②記念講演
    - 「人・農地プランの実質化を確実に進めるために」  
全国農業会議所 専門相談員 澤畑 佳夫 氏
  - ③申し合わせ決議
    - 第1号議案 「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」のさらなる推進のための申し合わせ決議(案)
    - 第2号議案 「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議
    - 第3号議案 農業委員会の委員等の綱紀保持に関する申し合わせ決議
- 第2部 要請決議 農地利用の最適化に向けた施策推進に関する要請決議
- ガンバロー三唱

全国農業委員会会長代表者集会では、全国農業会議所専門相談員の澤畑佳夫氏より「人・農地プランの実質化」を成功させるための4つのポイントは、

- ①「人・農地プラン」を推進する方々に熱意や真剣さが感じられるか
- ②同じ目標に向かって一緒に行動したいと思われているか
- ③農業委員等自身が汗をかいた経験があるか
- ④説得力・調整力があるか

と話されました。これから、「人・農地プランの実質化」に向けた話し合いが随時実施されることとなりますが、農業委員・推進委員の皆さん方の積極的な関わりをお願いします。

### (2) 県選出国會議員への要請活動について

全国農業委員会会長代表者集会において決定した「新たな食料・農業・農村基本計画」の策定等に向けた要請について、県選出国會議員に対し要請しました。



### 3. 話し合いコーディネートスキルマスター研修会を開催 ～参加者が納得する「合意形成型」の話し合い～

本県では、人・農地プランの推進による担い手への農地の集積・集約化を図るため、市町が選定した「人・農地課題解決重点区域」での徹底した話し合いを促してきました。国においても今年度から「人・農地プランの実質化」を強力に推進しており、市町農政課との連携のもと農業委員・推進委員、事務局職員が話し合い参加者から様々な意見を引き出せるようなコーディネートのスキルを早期に身につけていくことが不可欠です。



このため、佐賀県農業会議(会長・坂井邦夫)では、全国で人・農地プランの推進や話し合いの活性化に取り組み、成果を上げてきた会議ファシリテーター普及協会代表理事の釘本健一氏・石川みちえ氏と全国農業会議所専門相談員・地方考夢員研究所所長(茨城県東海村農業委員会元事務局長)の澤畑佳夫氏を講師に招いて「話し合いコーディネートスキルマスター研修会」を開催しています。

この研修会では、楽しい雰囲気を作って、「地域に開かれた農業の楽しいアイデアを出し合う」等のテーマに沿って、たくさんの意見(付箋紙への書き出し・付け足し)を参加者の合意のもと決定していく、ワークショップ(体験型講座)なども取り入れられています。

「基礎編」と「実践編」に参加した農業委員会職員からは、「ファシリテーションに対して、あまり馴染みなかったが、うまく問いかけながら会議を進めていくポイント等、これから様々な会議の進行をする上でとても参考になった」、「短時間の中で素晴らしいアイデアが練り上げられ、方針決定が見える化できたことは効果的だった」等の意見が出されました。

#### ○農業委員会職員向け

##### 【日時・場所】

- 第1部(基礎編) 12月18日(水) 10時～16時
- 第2部(実践編) 12月23日(月) 10時～16時
- 第3部(体験編) 1月 9日(木) 9時～17時

佐賀市「グランデはがくれ」

#### ○農業委員・推進委員向け

##### 【日時・場所】

- 第1部(基礎編) 1月10日(金) 10時～16時
- 第2部(実践編) 1月24日(金) 10時～16時

佐賀市大和町「龍登園」

##### 【内容】

###### 《第1部(基礎編)》

- 地方考夢員研究所長・全国農業会議所専門相談員 澤畑 佳夫氏  
人・農地プランの策定の意義やファシリテーションの有効性について学ぶ。
- 会議ファシリテーター普及協会 釘山 健一氏・石川みちえ氏  
MFAメソッドによる「対話型座談会のコツ」の基礎的な内容を学ぶ。

###### 《第2部(実践編)》

- 会議ファシリテーター普及協会 釘山 健一氏・石川みちえ氏  
基礎編の内容を踏まえて「対話型座談会」の実践的なスキルを学ぶ。

###### 《第3部(体験編)》

- 地方考夢員研究所長・全国農業会議所専門相談員 澤畑 佳夫氏  
人・農地プランの実質化に向けた具体的な進め方や各段階における留意点について学ぶ。

## 4. 農業者年金の加入推進について



確定申告前のこの時期に  
**節税対策**として、農業者年金制度の普及を！！

- ◆ 農業者年金なら、節税対策しながら将来に備えられます。
  - ・支払った保険料は、ご家族の分も含めて社会保険料控除の対象となり、大きな節税効果があります。
  - ・経営や家庭の状況に応じて、いつでも保険料の上げ下げができます（2万円～6万7千円）。また、脱退や再加入も自由です。

【節税額（所得税・個人住民税・復興特別所得税）の目安】

課税対象所得	税率	政策支援加入	通常加入	
		月額1万円の場合	月額2万円の場合	月額6万7千円の場合
195万円以下	15.1%	1万8千円	3万6千円	12万1千円
195万円超330万円以下	20.2%	2万4千円	4万8千円	16万2千円
330万円超695万円以下	30.4%	3万6千円	7万3千円	24万4千円

○ **令和元年度新規加入目標・実績** ○ (単位：人)

市町名	令和元年度		達成率 (%)	残り確保数
	目標	4月～11月		
佐賀市	8	9	113	☆達成
神埼市	2	0	0	2
吉野ヶ里町	1	1	100	☆達成
鳥栖市	※1	2	200	☆達成
基山町	1	0	0	1
上峰町	1	0	0	1
みやき町	2	1	50	1
多久市	1	1	100	☆達成
小城市	3	2	67	1
唐津市	12	7	58	5
玄海町	※2	3	150	☆達成
伊万里市	5	2	40	3
有田町	※1	0	0	1
武雄市	1	1	100	☆達成
大町町	※1	1	100	☆達成
江北町	1	1	100	☆達成
白石町	8	0	0	8
鹿島市	4	0	0	4
嬉野市	4	0	0	4
太良町	3	1	33	2
合計	62	32	52	30



## 5. 全国農業新聞の普及推進について

### 「全国農業新聞」普及推進のお願い

今年度目標部数 1,600 部

目標まであと 240 部

12月現在部数 1,360 部

「情報提供活動」は、農業委員・推進委員の役割です！！  
 全国農業新聞を普及することで農業者等へ情報を提供できます。  
 農業会議では以下の普及資材を取りそろえていますので、是非ご利用  
 いただき、まずは1部普及をお願いします！！



- ①エコバッグ
- ②軍手
- ③タオル
- ④ボールペン
- ⑤オリーブハンドクリーム
- ⑥スポンジ

- ⑦情報活動の意義と役割(A3・農委会向けリーフレット)
- ⑧一般用チラシ(A3・購読申込書兼口座振替依頼書付)
- ⑨一般用チラシ
- ⑩購読申込書兼口座振替依頼書
- ⑪行政書士向けチラシ
- ⑫農業経営に情報という肥料を撒く(A3・農家向けリーフレット)
- ⑬クリアファイル



※すべて無料

見本紙もご用意  
 できます

★1個・10個・100個いくつからでも発送します★

ご利用の場合は、各農業委員会事務局もしくは  
 農業会議へご連絡ください。

## 6. 常設審議委員会結果(R元年11・12月)

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議しました。第44回、第45回の件数及び面積については、以下のとおりです。

〈農地法関係処理状況〉

○審議件数

第44回	11月15日	第4条	1
		第5条	11
第45回	12月16日	第4条	2
		第5条	9

○田畑別件数及び面積(m<sup>2</sup>)

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第44回	11月15日	第4条	1	3,853	0	-	1	3,853
		第5条	9	41,924	3	10,045	11	51,969
第45回	12月16日	第4条	1	3,900	2	20,532	2	24,432
		第5条	8	34,871	2	10,234	9	45,105

## 7. 今後の行事予定

月	日	時間	場所	内容
1	8	13:30	東京都	女性農業委員登用促進研修会
	9	11:00		第10回全国農業委員会女性協議会総会
		13:00		農業委員会女性委員農業者年金推進セミナー
	9	9:00	グランデはがくれ	スキルマスター研修会 (体験編：農業委員会職員)
	10	10:00	龍登園	スキルマスター研修会 (基礎編：農業委員・推進委員)
	15	13:30	グランデはがくれ	第46回常設審議委員会
	22	13:30	鳥栖市民文化会館	令和元年度農業委員・推進委員研修会
24	10:00	龍登園	スキルマスター研修会 (実践編：農業委員・推進委員)	
2	13	13:00	三日月町・富士町	農業委員会女性協議会視察研修会
	17	13:30	グランデはがくれ	第47回常設審議委員会

## 8. 「2020年農林業センサス」が実施されます



農林水産省では、令和2年2月1日現在で、「2020年農林業センサス」を実施します。この調査は、我が国の農林業・農山村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査です。

令和2年1月上旬から調査員が農林業関係者の方々を訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。

調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。